

12. その他の経費の推移

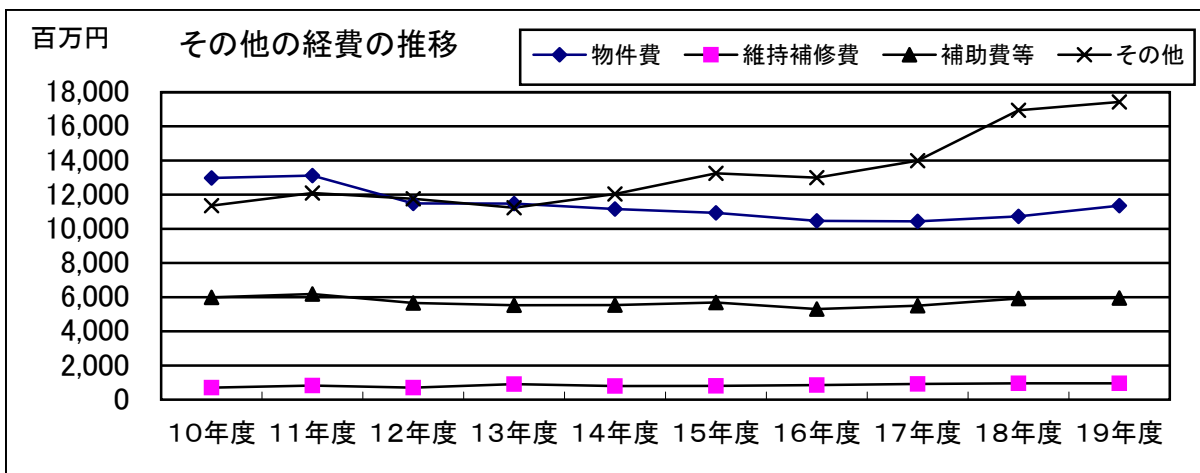
その他の経費は、対前年度比較で約11億3千万円、3.3%の増となった。

その他の経費とは、義務的経費と投資的経費を除く経費であり、物件費、補助費等と、維持補修費、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金などで構成されている。

平成19年度は、18年度と比較して約11億3千万円、3.3%の増となった。

主な要因は、繰出金が国民健康保険事業会計などの他会計への繰出金の増により、約4億6千万円の増となったことによるものである。

なお、物件費については、「14. 物件費の推移」において分析する。



次のグラフは、その他の経費の構成比を示したものである。

平成12年度において、繰出金の構成比が増となった要因は、普通会計の集計方法の変更に伴い介護保険の関連経費を、また、平成14年度からは各駐車場の管理運営及び整備に関する経費を繰出金に計上したためである。

平成19年度は、前年度と比較して各経費の比率に特に大きな変化はみられないが物件費及び繰出金の構成比は上昇し、補助費等とその他は低下した。

